

HCMS

操作説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.
第2版

ご注意

- ご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複製または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版	2020 年 04 月 28 日	新規作成
第 2 版	2021 年 07 月 14 日	商品名変更、記述修正

目次

1、概要	4
2、仕様	4
3、推奨運用環境	4
4、起動とログイン	5
5、カメラ及び NVR の登録	6
5-1、同一 LAN 内にあるデバイス（NVR・IP カメラ）の登録	6
5-2、WAN 側にあるデバイスの登録	7
5-3、デバイス表示の変更	9
6、ライブ映像監視	12
6-1、カメラの映像を表示する	12
6-2、画面表示（分割画面）選択	14
6-3、チャンネルグループ表示	14
6-4、ライブ画面の保存と呼び出し	16
6-5、ライブ画面のアイコンの説明	17
7、録画再生	20
7-1、デバイスグループ配下のカメラを同時に再生する	20
7-2、カメラを選んで再生する	21
7-3、さまざまな検索方法	21
7-4、イベントリスト再生	22
7-5、アラームリストの再生	23
7-6、アイコンの説明と再生操作	24
8、バックアップ	26
8-1、バックアップメニューからバックアップする	26
8-2、再生画面からバックアップ	28
9、アラーム設定	30
9-1、アラーム設定機能を有効にする	30
9-2 デバイス設定	30
9-3 アラーム設定	31
9-4 アラームログ	32
10、E-マップ表示	33
10-1、E-マップの機能を有効にする	33
10-2、E-マップを設定する	33
10-3、E-マップで監視する	35
11、マルチモニタ表示	38

1、概要

HCMS はハイテクインターブランドの IP カメラ及びレコーダ(NVR/DVR)を統合し、最大 100 台のカメラ映像を同時に表示することができるセキュリティ管理ソフトウェアです。

リアルタイム映像監視、録画映像の再生及びダウンロード、アラームリンク、E-MAP 表示、デバイス管理、デバイスグループ設定、ユーザーアカウント管理など、多彩な機能を装備し、あらゆる映像監視要求に対応できるソフトウェアです。

2、仕様

- ・接続可能なデバイス＝ハイテクインターブランドの IP カメラ、DVR、NVR、Onvif、RTSP
- ・最大登録チャンネル数＝256CH
※チャンネル数とは、レコーダに接続したカメラ数を指す。レコーダを介さず HCMS にダイレクトに接続するカメラは 1 台＝1CH となる。
- ・最大登録デバイス数＝64 デバイス
※デバイスとは、レコーダ及びカメラを指す。レコーダを介さず HCMS にダイレクトに接続するカメラは、1 台＝1 デバイスとなる。
- ・最大同時表示数＝100 台

3、推奨運用環境


1) オペレーティングシステムの要件

システム	推奨
Windows10	Windows10 (64bit Professional)

2) ハードウェア要件

アイテム	推奨
CPU	Inter(R)Core(TM)i5-64002.70GHz 又はそれ以上
メモリ	16GB DDR3
HDD	500GB またはそれ以上
グラフィックカード	Intel HD Graphics 530 2GB 又はそれ以上 NVIDIA GeForce GTX 1060 6GB 又はそれ以上 (マルチスクリーン表示運用の場合: 2GB GDDR5memory を推奨)

4、起動とログイン

- デスクトップの  「Monitor Client」アイコンをダブルクリックします。
- ログインメニューが起動しますので、ユーザー名とパスワードを入力して、**ログイン**をクリックします。
初期パスワードは:123456 です。

お知らせ

- ☐ パスワードを保存する → 次回起動時にパスワードの入力が不要です
- ☐ 自動ログイン → 次回起動時にログイン操作が不要になります。



ログイン

ユーザー名

パスワード

☐ パスワードを記憶する ☐ 自動ログイン

[パスワードを忘れた](#)

- ホームをクリックするとメニューの一覧が表示されます。
ホームメニューからさまざまな機能にアクセスすることができます。



- ログインが完了したら、システム名称を変更してください。
「ホーム」→「ローカル設定」→「システム設定」に移動します。
システム名に「HCMS」と入力して「適用」をクリックします。
ユーザーの監視システム名を入力することもできます。



システム設定

☐ アラーム映像はサードストリームで表示 ☐ スケジュール外のアラームは表示しない

☐ 同一アラームの出力間隔: 時間

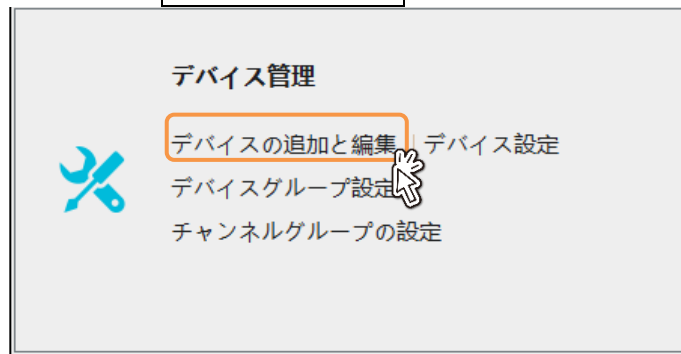
☒ デバイスの同期 ☒ タイムゾーンの同期 (プラットフォーム時間は2時間ごとにデバイスと同期します)

システム名

5、カメラ及び NVR の登録

HCMS で視聴するためのカメラや NVR を登録します。

- ホームメニューで、デバイス管理の「デバイスの追加と編集」をクリックします。



5-1、同一 LAN 内にあるデバイス（NVR・IP カメラ）の登録

同一セグメントに接続されたハイテクインターブランドの IP カメラや NVR を登録します。

- デバイスの追加と編集の操作画面が表示されます。
エンコードデバイスの「追加」をクリックします。



- パソコンと同一 LAN に接続されているハイテクインターブランドのデバイス(NVR/IP カメラ)が検出され、リストアップされます。
登録したいデバイスのチェックボックスを有効にし「OK」をクリックします。



- 選択したデバイスが登録され、一覧に表示されます。

デバイスのパスワードが初期値(123456)のままの場合、登録したデバイスは黒文字で表示され、オンライン表示欄は『オンライン』と表示されます。

追加	削除	デバイスグループ選択		転送サーバ選択		録画サーバ選択		アップグレード	インポート	エクスポート	検索		
<input type="checkbox"/>	編集	デバイス名	種類	チャ...	アラ...	アラーム出力番号	IPアドレス/IPアド...	ポート番号	グループ選択	転送サーバ選択	録画サーバ選択	接続状態	モデル
<input type="checkbox"/>		IPC	標準IPC/...	1	1	1	192.168.10.251	9008	デフォルトエリア	映像サーバ	録画サーバ	オンライン	D046
<input type="checkbox"/>		IPC右	標準IPC/...	1	1	1	192.168.10.99	9008	デフォルトエリア	映像サーバ	録画サーバ	オンライン	X009

- デバイスのパスワードを変更している場合は、デバイスの表示はグレーアウトになり、オンライン表示欄は『オフライン』と表示されます。

パスワードを変更するため、編集アイコンをクリックします。

追加

削除

設置エリア一括設定

映像サーバー一括設定

録画サーバー一括設定

Export

検索

<input type="checkbox"/>	編集	デバイス名	種類	チャンネ...	アラーム...	アラーム...	IPアドレ...	ポート番号	設置エリア	映像サー...	録画サー...	オンライン
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0...	Secula	0	0	0	192.168.0...	6036	default area	Transfer S...	Storage Se...	パスワード...

パスワード欄にデバイスに設定したパスワードを入力して **OK** をクリックします。

変更エンコードデバイス

オートリポート追加 ☐

デバイス番号

グループ選択 デフォルトエリア

転送サーバ選択 映像サーバ

録画サーバ選択 録画サーバ

デバイスアドレス IPアドレス 192.168.10.251

プロトコル 標準IPC/NVR/DVR

ポート番号 9008

ユーザー名 admin

パスワード

OK

取消

5-2、WAN 側にあるデバイスの登録

インターネット経由で遠隔地のデバイスを接続する場合は、IP アドレスやドメイン名(DDNS)を手動で入力します。

お知らせ

事前に、デバイス側にあるルータでポートフォワーディング設定を行ってください。Web ポートと Data ポートをフォワーディングします。

NVR のポートの初期設定は web:80、Data:6036 です。

IP カメラのポートの初期設定は Web:80、Data:9008 です。

セキュリティ強化のため、Web ポートは変更することをお勧めします。

- **デバイスの追加と編集**の操作画面で **追加** をクリックします。

デバイスの追加と編集

デバイス設定

デバイスグループ設定

チャンネルグループの設定

デバイスの種類

エンコードデバイス (オンライン/総数:2/1)

映像分析サーバ (オンライン/総数:1/1)

録画サーバ (オンライン/総数:1/1)

転送サーバ (オンライン/総数:1/1)

アラームサーバ (オンライン/総数:1/1)

追加

削除

デバイスグループ選択

転送サーバ選択

録画サーバ選択

アップグレード

検索

インポート

エクスポート

<input type="checkbox"/>	編集	デバイス名	種類	チャンネル数	アラーム入力番号	アラーム出力番号	IPアドレ...
<input type="checkbox"/>		IPC	標準IPC/...	1	1	1	
<input type="checkbox"/>		IPC右	標準IPC/...	1	1	1	

- **手動追加**をクリックします。

- 接続したいデバイスの WAN アドレスかドメイン名（DDNS）を入力します。

◆ IP アドレスを入力します。

『IP アドレス』の表示をクリックすると、IP アドレス入力が有効になります。接続するデバイスの WAN IP アドレスを入力し、必要に応じて、ポート番号(Data ポート)とパスワードを入力します。入力が完了したら、右下の **OK** をクリックします。

- ◆ ドメイン名（DDNS）を入力する場合は、IP アドレス表示右側のプルダウンをクリックし **ドメイン名** を選択します。

DDNS に登録したドメイン名を入力します。必要に応じて、ポート番号（Data ポート）とパスワードを入力します。入力が完了したら **OK** をクリックします。

i お知らせ

ハイテックインターブランドの NVR、IP カメラは、無償の DDNS サービスに対応しています。NVR 又は IP カメラの「ネットワーク設定→DDNS 設定」メニューで、DDNS を有効にし、DDNS タイプで www.autoddns.com を選択します。任意のドメイン名を入力して登録します。

5-3、デバイス表示の変更

複数のデバイスを登録してカメラの台数が増えると、ライブ画面や再生画面で監視したいカメラを探しにくくなります。幾つかの方法で、目的のカメラを探しやすくなることができます。

5-3-1、デバイス名の変更

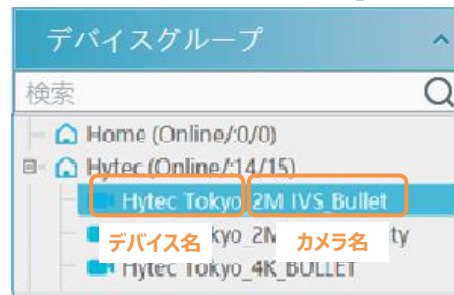
デバイスに分かりやすいデバイス名称を付けます。

- デバイス管理の「**デバイス設定**」を選択します。

登録済みのデバイスをクリック①してデバイス名を変更②して適用します。



ライブ画面のデバイスグループ表示には「デバイス名＋カメラ名」の形式で表示されます。



i お知らせ

カメラの名称表示も変更することができます。(リモートでカメラ側の名称設定を変更します。)

「**デバイス設定**」メニューで、デバイス配下のカメラをクリック①して、監視地点名を入力②して「**適用**」をクリック③します。



機器名称には日本語も入力可能ですが、文字によっては正しく表示されない場合があります。

5-3-2、デバイスグループの設定。

複数のデバイスを登録すると、初期設定では、全てのデバイスが「デフォルトエリア」に配置されることになります。デバイス配下の全てのカメラが「デフォルトエリア」に配置されます。

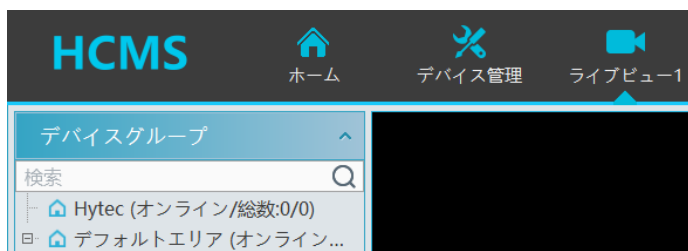
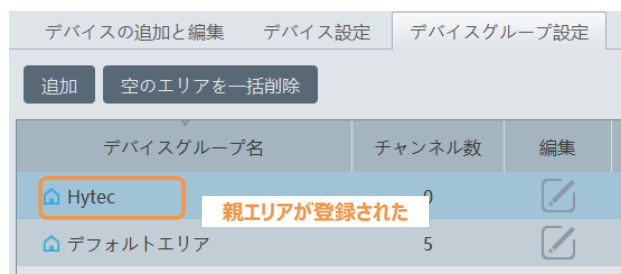
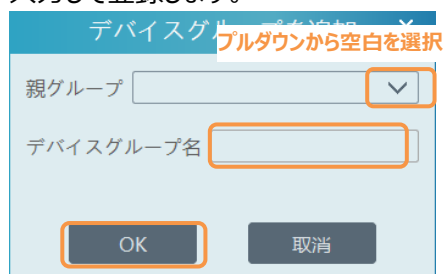
デバイスグループを設定して、デバイス毎、或いは設置場所毎にカメラを括ることで、分かりやすくデバイスをグループ分けすることができます。

- デバイス管理の『デバイスグループ設定』を選択し『追加』をクリックします。



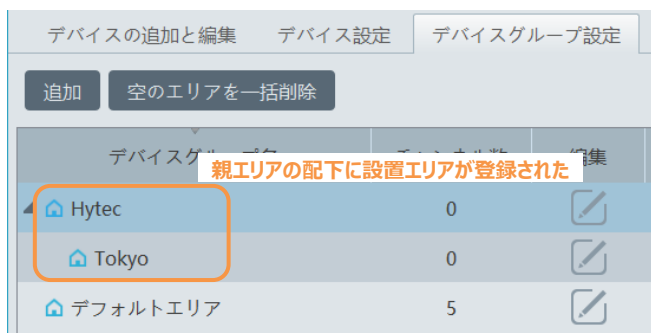
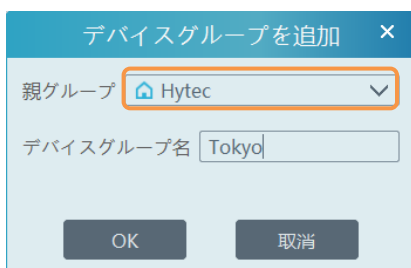
- 親デバイスグループの登録

新規に『親デバイスグループ』を登録する場合は、プルダウンから空白を選択し、デバイスグループ名を入力して登録します。



ライブ画面の設置エリアにも親エリアが追加された。

- 既存の『親デバイスグループ』に属させる場合は、希望する親デバイスグループを選び、デバイスグループ名を入力して登録します。



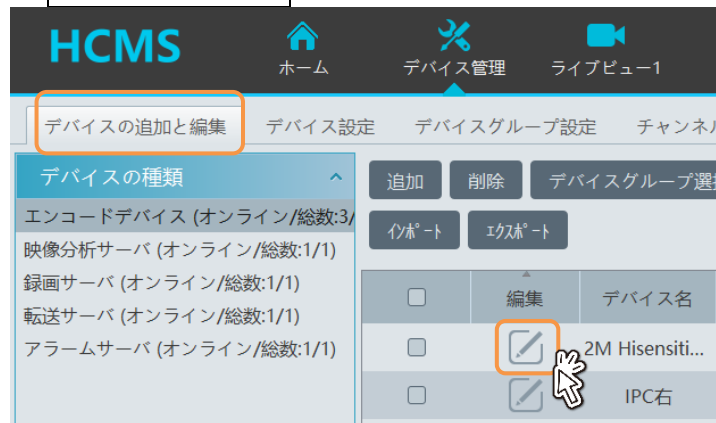


ライブ画面のデバイスグループにも親デバイスグループ+デバイスグループが追加された。

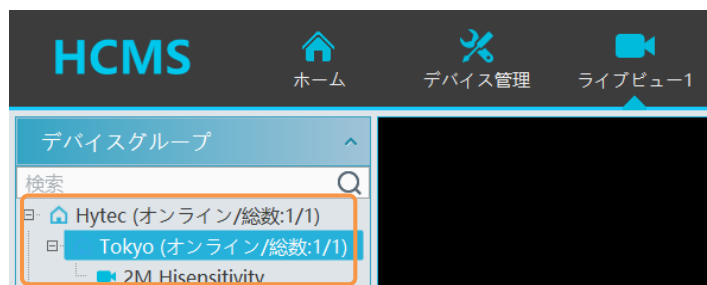
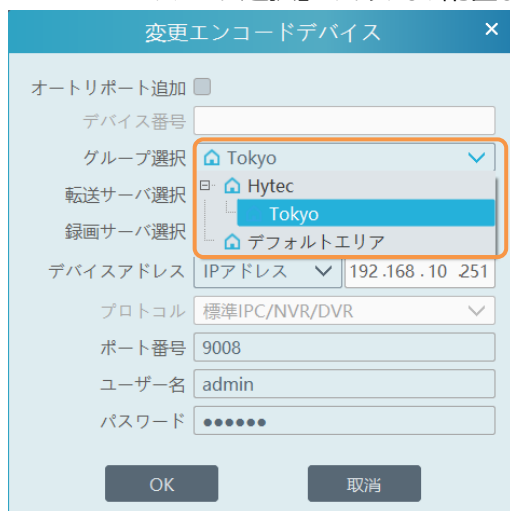
5-3-3、デバイスグループへの配置

デバイスをデバイスグループの配下に配置します。

- デバイス管理の『デバイスの追加と編集』を選択し、配置を変更したいデバイスの『編集』をクリックします。



- 『グループ選択』をクリックし、配置したいデバイスグループを選択して『OK』をクリックします。



ライブ画面のデバイスグループに親グループ→デバイスグループ→デバイスが配置された。

6、ライブ映像監視

カメラが撮影した映像をリアルタイムで表示して視聴することができます。

- ホームメニューでライブ映像をクリックします。

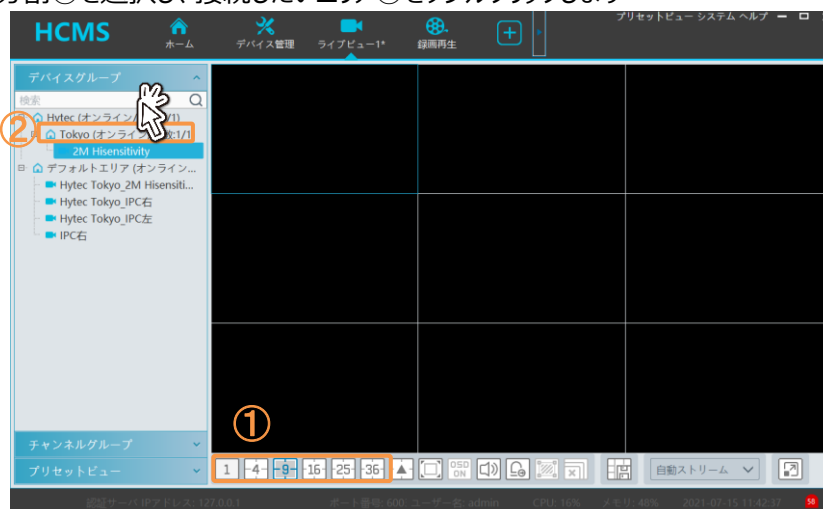


6-1、カメラの映像を表示する

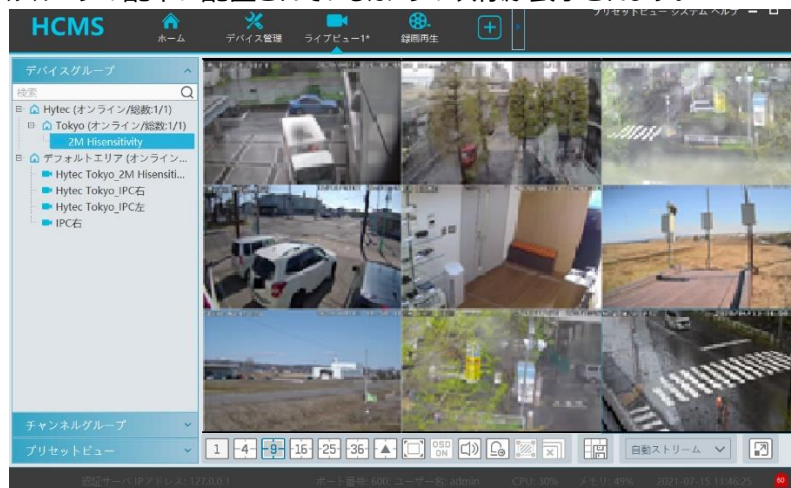
デバイスグループに配置されたカメラの映像を表示します。

6-1-1、デバイスグループ配下のカメラを纏めて表示する

- 画面分割①を選択し、接続したいエリア②をダブルクリックします



- デバイスグループの配下に配置されているカメラの映像が表示されます。

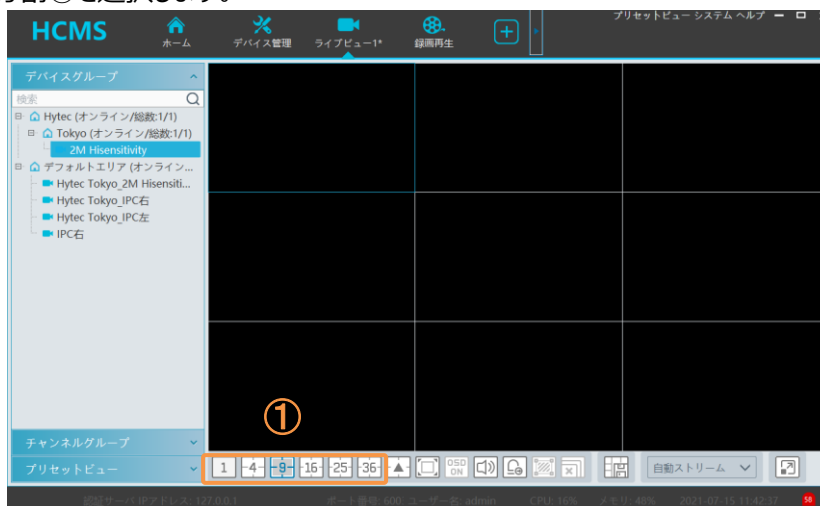


i お知らせ

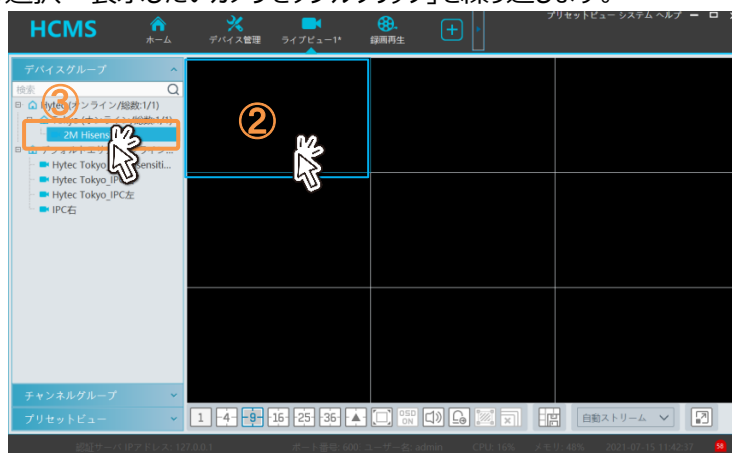
画面分割数よりもデバイスグループ配下のカメラ数の方が多い場合は、分割台数分のカメラしか表示されません。デバイスグループ配下のカメラ台数より多い分割数を選択することで、全てのカメラが表示されます。

6-1-2、デバイスグループ配下のカメラを選んで表示する

- 画面分割①を選択します。

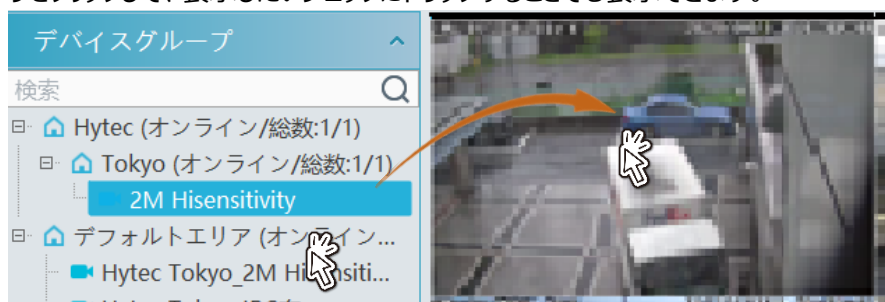


- 表示したい位置（ブロック）をクリック②して青枠表示にし、表示したいカメラをダブルクリック③します。
「ブロックの選択→表示したいカメラをダブルクリック」を繰り返します。



i お知らせ

カメラをクリックして、表示したいブロックにドラッグすることでも表示できます。

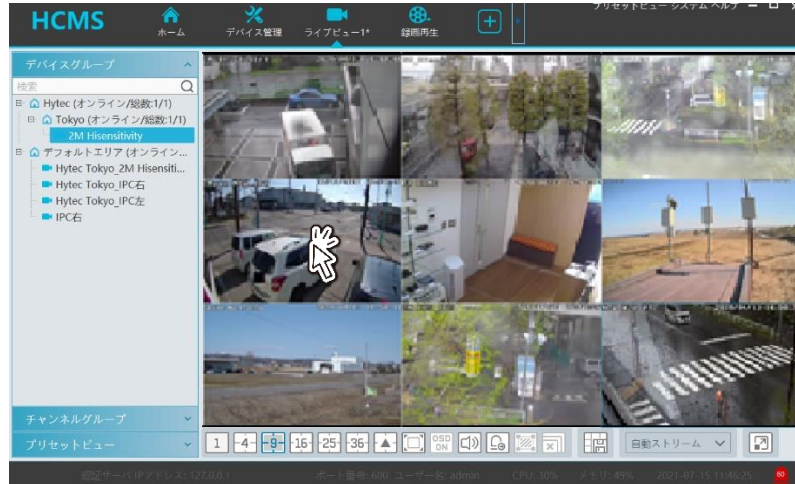


6-2、画面表示（分割画面）選択

複数のカメラを分割画面で同時に表示したり、1 台のカメラを選択して単画面表示に切り替えることができます。

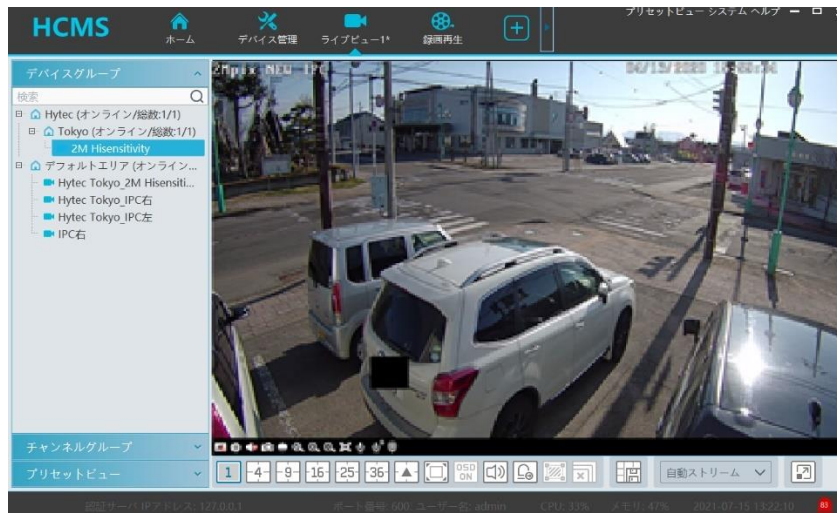
● 分割画面と単画面の切り替え

分割画面表示の状態では、単画面表示したいカメラ映像の上でマウスをダブルクリックします。



単画面表示に切り替わります。

元の分割画面に戻したい時は、単画面の画面上でマウスをダブルクリックします。

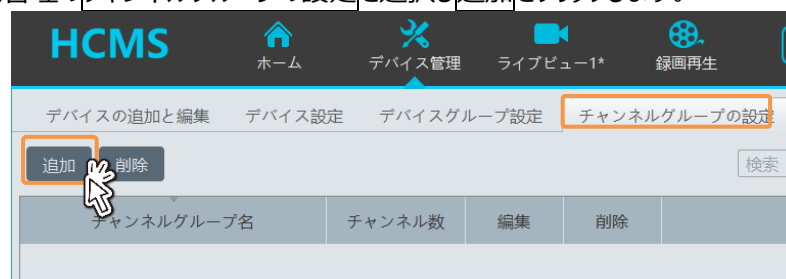


6-3、チャンネルグループ表示

チャンネルグループを登録すると、登録したチャンネルグループの映像を分割画面で表示したり、一定時間間隔で巡回して表示することができます。

複数のグループを登録して、別々のウィンドウで、それぞれのグループを巡回表示することも可能です。

● デバイス管理のチャンネルグループの設定を選択し追加をクリックします。



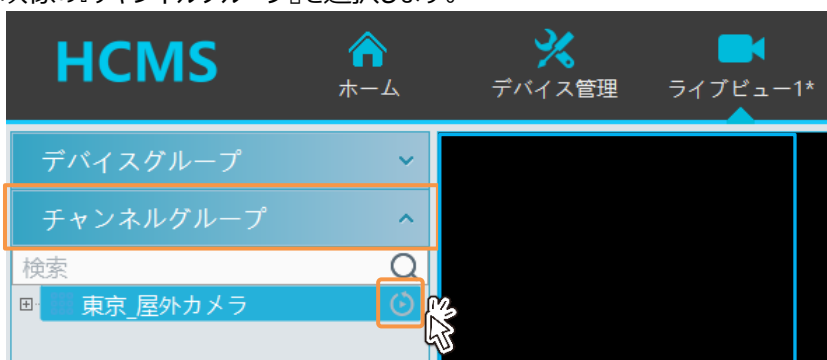
- チャンネルグループ名を入力①し、グループに登録するカメラのチェック☑を有効②にして[>]をクリック③してカメラを選択します。②③を繰り返し、巡回するカメラを全て選択したら、滞留時間を選択④してOK をクリックして保存します。（滞留時間＝5 秒は、5 秒毎に選択したカメラが切り替わる）



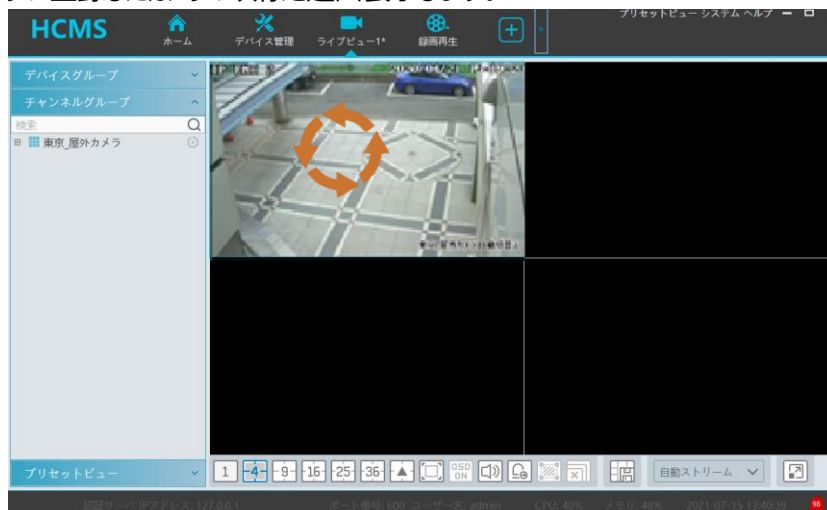
i お知らせ

複数のグループを登録する時には、親グループの配下に子グループを配置することも可能です。グループを登録する時に『Parent Channel Group』で親グループを選択して登録します。

- ライブ映像の『チャンネルグループ』を選択します。



グループに登録したカメラの映像を巡回表示します。



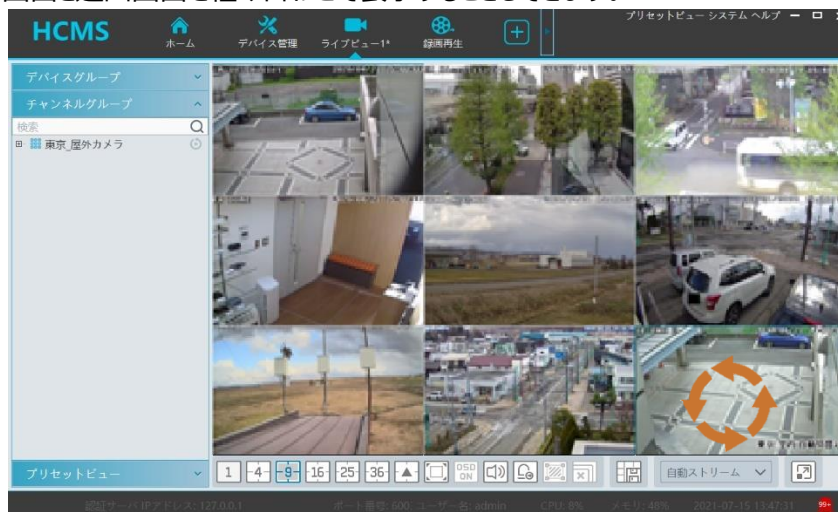
i お知らせ

グループの構成が「親グループ→子グループ」の構成になっているときに、親グループを巡回させると、グループ内の全てのカメラの映像を巡回表示します。またこの時、遷移時間は親グループに設定された時間で巡回します。

例えば、親グループ=5 秒、子グループ=10 秒の設定でも、全てのカメラが 5 秒の遷移時間で巡回します。子グループのみを巡回させる場合は 10 秒の遷移時間で巡回します。

i お知らせ

分割画面と巡回画面を組み合わせて表示することもできます。



6-4、ライブ画面の保存と呼び出し

ライブ画面を保存して簡単に呼び出すことが可能です。

- ライブ画面を表示したら「画面表示設定の保存」をクリックします。



i お知らせ

巡回画面を組み合わせた画面を保存することも可能です。

- 名称を入力して **OK** をクリックします。

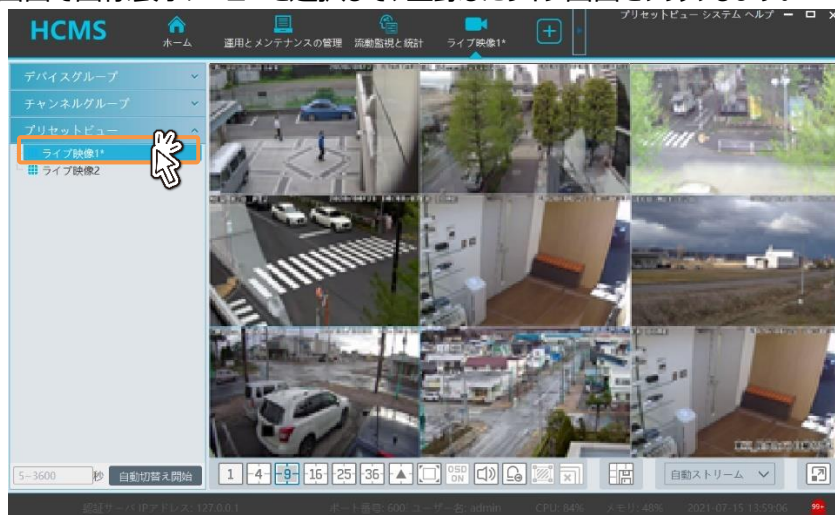
映像表示設定の保存

映像表示グループ名

OK

キャンセル

- ライブ画面で画像表示メニューを選択して、登録したライブ画面をクリックします。



i お知らせ

ライブ画面を閉じるときに以下のメッセージが表示されます。



はいをクリックすると、直前の画面の状態が保存されますのでご注意ください。

例えば、ライブ画面 1 は 9 分割画面で登録してあるが、画面を操作して CH1 のカメラを単画面表示に切り替えた状態でライブ画面 1 を閉じるとします。その時に**はい**をクリックして画面を保存すると CH1 の単画面表示が保存され、元の 9 分割画面の登録は消去されます。

事前に登録済みの画面表示を保持したい場合は、**いいえ**をクリックします。

6-5、ライブ画面のアイコンの説明

ライブ画面に表示されるアイコンの機能を説明します。



●エリア A



＋をクリックすると空のライブ画面を開きます。クリックする度に新しい空のライブ画面を開きます。

●エリア B



①	このチャンネルを閉じる	⑦	デジタルズーム：拡大
②	ローカル手動録画の ON/OFF *1	⑧	デジタルズーム：縮小
③	音声（受話）の ON/OFF *2	⑨	デジタルズーム終了
④	ローカル静止画保存	⑩	MIC（送話）の ON/OFF *4
⑤	PTZ コントロールメニュー ON	⑪	双方向通話の ON/OFF *5
⑥	3D PTZ コントロール *3	⑫	デバイス設定メニューを表示

*1:PC の C:/record フォルダに録画ファイルを保存します。クリックで録画開始、再度クリックで録画終了。

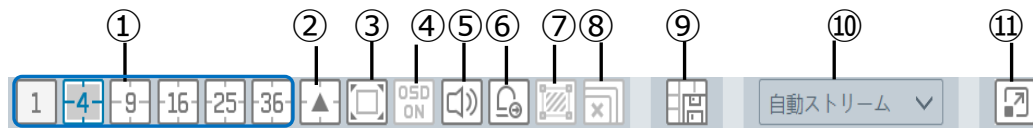
*2:MIC 内蔵のカメラ、又は外部マイクを接続したカメラが接続されている時、MIC の音を出力します

*3:画面の注目したいポイントをクリックすると、クリックしたポイントにカメラが方向を変えます。

*4:カメラにスピーカーが接続されている時、PC からカメラに向かって送話し、スピーカーを鳴らすことができます。

*5:カメラにマイクとスピーカーが接続されているとき、PC との間で双方向通話ができます。

●エリア C



①	1/4/9/16/25/36 分割画面選択	⑦	スマート検出エリアの表示
②	さまざまな分割表示モードの選択	⑧	全てのチャンネルを閉じる
③	フル画面表示 *1	⑨	ライブ画面表示の保存
④	OSD 表示の ON/OFF	⑩	ストリーム選択
⑤	音声放送	⑪	スマートキャプチャパネル表示/非表示
⑥	手動アラーム		

*1:映像だけをモニタの全画面に表示します。元の表示に戻すには ESC キーを押します。

●右クリックメニュー

各チャンネルの映像の上でマウスを右クリックして表示します。



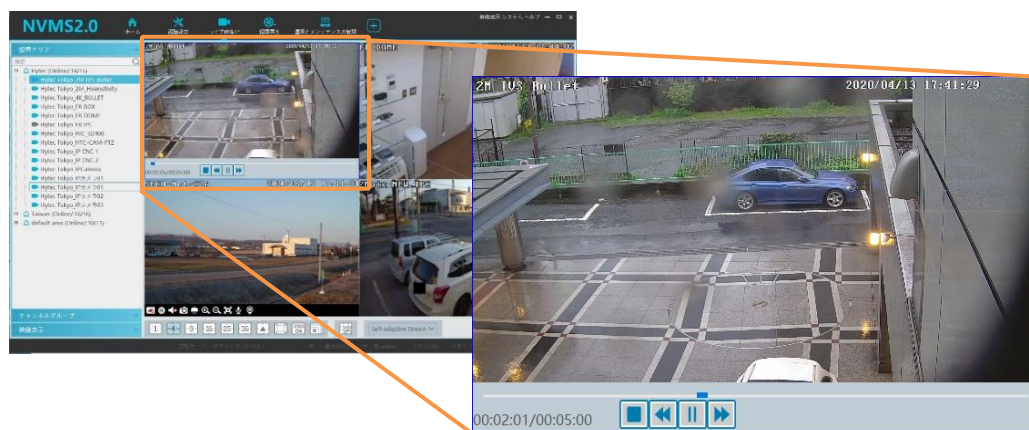
①	アスペクト比 4:3 で表示
②	アスペクト比 16:9 で表示
③	カメラの撮影アスペクト比で表示
④	スクリーン枠のサイズに自動調整
⑤	別画面表示
⑥	サブ画面を閉じる
⑦	チャンネルを閉じる
⑧	ローカル手動録画開始
⑨	クイック再生 *1
⑩	音声（受話）の ON/OFF
⑪	ローカル静止画保存
⑫	PTZ コントロールメニュー ON
⑬	双方向通話の ON/OFF
⑭	メインストリーム選択
⑮	サブストリーム選択
⑯	サードストリーム選択
⑰	チャンネル情報
⑱	全画面表示

*1:クイック再生機能で直前の映像を再生することができます。

他のチャンネルはライブ表示のまま、選択したチャンネルのみ再生を行います。現在時刻から 10 秒前、30 秒前、1 分前、3 分前、5 分前を選択して再生します。

NVR の映像を再生する場合は『レコーダ』を有効にします。

クイック再生	30秒前
音声を聞く	1分前
スナップショット	3分前
PTZコントロール	5分前
通話開始	✓録画サーバ
1 2048x1536 30fps	レコーダ



■	再生画面を閉じる
◀	再生スピード減速
	一時停止
▶	早送り/スピードアップ

7、録画再生

録画映像を検索して再生します。

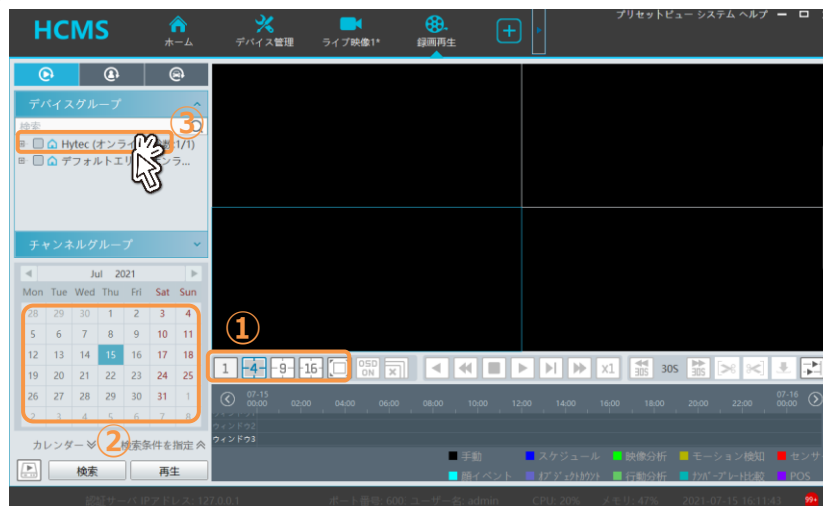
- ホームメニューで録画再生をクリックします。



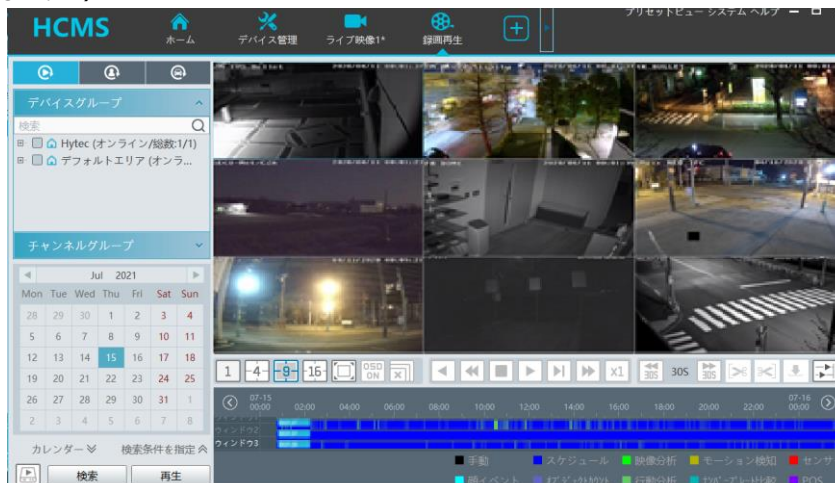
7-1、デバイスグループ配下のカメラを同時に再生する

デバイスグループの配下に配置されたカメラの録画映像を同時に再生します。

- 画面分割を選択①し、再生したい日付をクリック②した後、再生したいデバイスグループ③をダブルクリックします



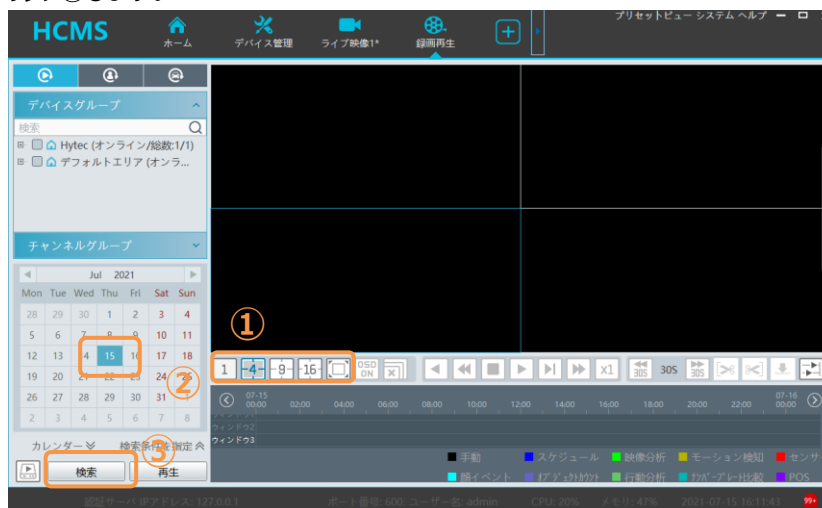
- 選択したデバイスグループの配下に配置されているカメラの映像が表示されます。
分割数よりグループ配下のカメラ数の方が多く場合は、分割数分の台数のカメラしか表示されません。グループ配下のカメラ台数より多い分割数を選択することで、全てのカメラが表示されます。
指定した日付の最も古い映像が再生されます。(24 時間連続録画の場合は 0 時 0 分 0 秒から再生します。)



7-2、カメラを選んで再生する

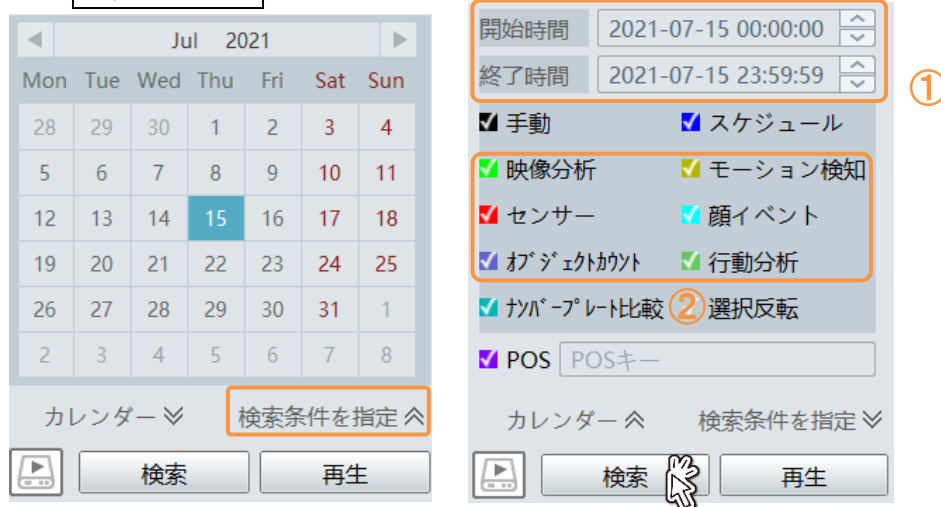
再生したいカメラを指定して録画映像を再生します。

- 画面分割を選択①し、デバイスを選択②します。
カレンダーに録画映像が存在する日付が青色で表示されますので、再生したい日付をクリック③し、検索をクリック④します。



7-3、さまざまな検索方法

カレンダー下の検索条件を指定をクリックすると、日付時刻指定検索とイベント検索が選択できます



7-3-1、日付時刻指定検索

- 開始時刻と終了時刻を入力①したら検索をクリックします。

7-3-2、イベント検索

- NVRでイベント録画が有効になっている場合に、イベントだけを抽出して再生できます。
例えば、顔検出:Smart Event、人間/車両検出:行動分析だけ有効②して検索します。
タイムバーにはイベントのみが表示され、イベントの録画映像だけが続けて再生されます。



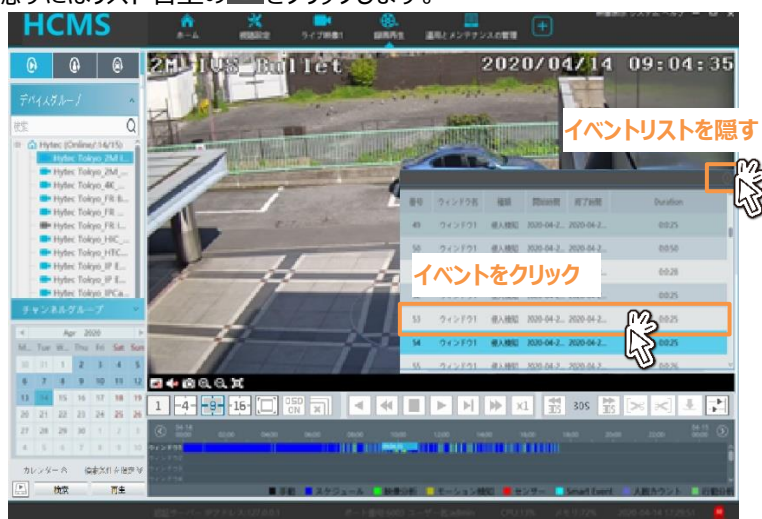
7-4、イベントリスト再生

イベントリストを表示し、イベントを選択して再生します。

- イベント再生したいチャンネルを選択します。分割表示の時は目的のウィンドウをクリックします。または、目的のチャンネルを単画面表示にします。
画面中央右端にマウスポインターを移動すると、隠れメニューが現れます。
真ん中のイベントアイコンをクリックします。



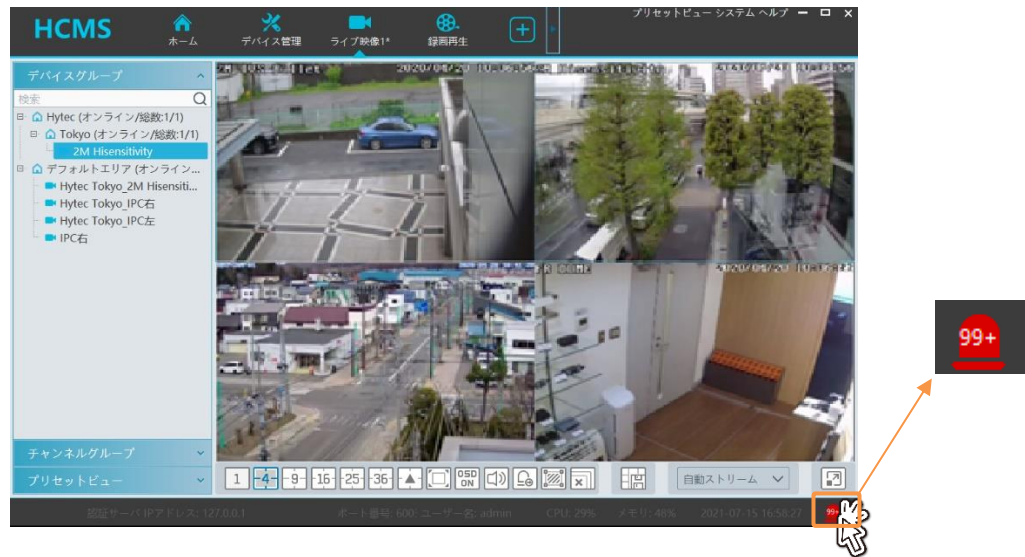
- 選択している日付の、一日分のイベントリストが表示されます。
イベントをダブルクリックすると、そのイベントが再生されます。
メニューを隠すにはリスト右上の [X] をクリックします。



7-5、アラームリストの再生

アラーム通知のリストを表示して、アラームを選択して再生します。

- カメラにイベントが発生するとアラームアイコンにアラームの件数が表示されます。



- アラームアイコンをクリックするとアラームイベントリストが表示されます。

アラームイベントの再生アイコンをクリックします。

時刻	発元	種類	録画内生	スナップ...	ステータス
2020-04-20 10:41:24	Hytec_HTC_IPカメラ02	Channel-Li...			
2020-04-20 10:41:22	Hytec Tokyo_FR BOX	Channel-F...			
2020-04-20 10:41:15	Hytec Tokyo_IPカメラ01	Channel-Li...			
2020-04-20 10:41:12	Hytec_HTC_2Mpix_NEW_IPC	Channel-Li...			

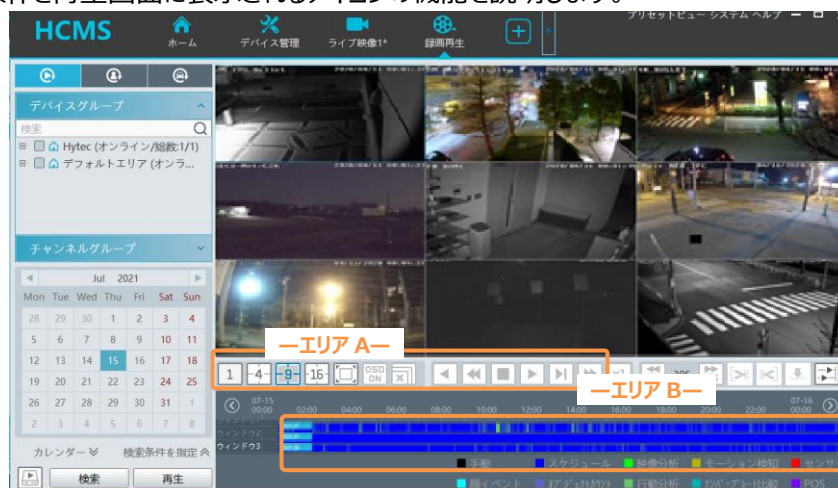
- 録画再生画面が起動して、選択したアラームイベントを再生します。

イベントアイコンをクリックするとイベントリストが隠れます。



7-6、アイコンの説明と再生操作

録画再生操作と再生画面に表示されるアイコンの機能を説明します。



●エリア A



①	1/4/9/16 分割画面選択	⑥	再生スピード減速 *2
②	フル画面表示 *1	⑦	停止 (チャンネルを閉じる)
③	OSD 表示の ON/OFF	⑧	一時停止/再生スタート
④	全てのチャンネルを閉じる	⑨	コマ送り
⑤	逆再生	⑩	早送り/スピードアップ *3

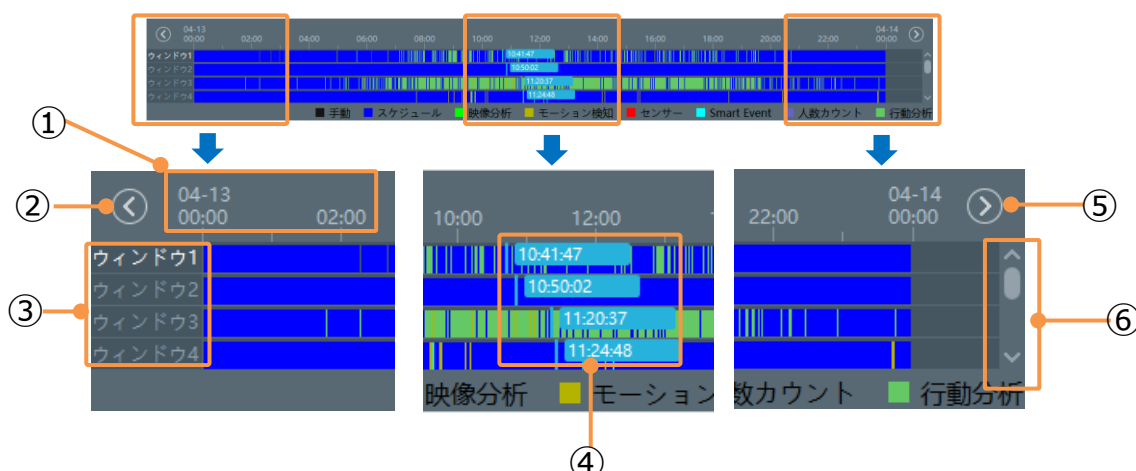
*1:映像だけをモニタの全画面に表示します。元の表示に戻すには ESC キーを押します。

*2:再生スピードを減速します。早送りの時にクリックすると減速。1 倍速再生の時にクリックするとスロー再生。

*3:クリックする度にスピードアップします。減速するには減速ボタン⑥をクリックします。

●エリア B

再生中のチャンネルのタイムバーが表示されます。



①	日付時刻表示	④	現在再生中の時刻
②	過去に遡る	⑤	現在に進める
③	ウインドウ番号 *1	⑥	タイムバーの縦スクロール *2

*1:映像表示ウインドウの番号を表示します。現在再生操作を選択中のウインドウは白文字で表示されます。

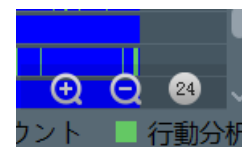
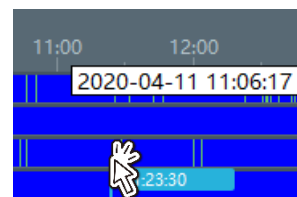
*2:4ch を超える分割表示で再生中の場合、タイムバーを縦スクロールして他の CH のタイムバーを表示します。
再生時刻の選択

i お知らせ

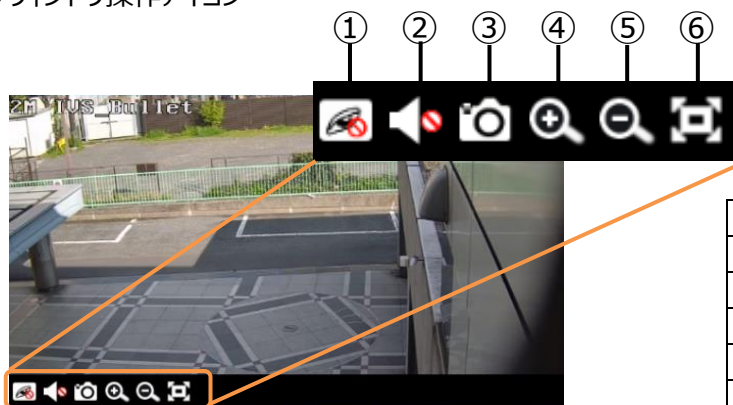
タイムバーの上にマウスポインターを載せると日付と時刻が表示されます。
マウスポインターを再生時刻指定したいウィンドウ番号のタイムバー上で移動させ、再生したい時刻でクリックします。

i お知らせ

タイムバーは最大 24 時間スパンです。⊕アイコンをクリックすると、最大 36 分スパンまで拡大が可能です。⊖アイコンで縮小、24 アイコンで 24 間スパンに戻ります。



● ウィンドウ操作アイコン



①	このチャンネルを閉じる
②	音声の ON/OFF
③	ローカル静止画保存
④	デジタルズーム：拡大
⑤	デジタルズーム：縮小
⑥	デジタルズーム終了

● 右クリックメニュー

各チャンネルの映像の上でマウスを右クリックして表示します。



①	アスペクト比 4:3 で表示
②	アスペクト比 16:9 で表示
③	カメラの撮影アスペクト比で表示
④	スクリーン枠のサイズに自動調整
⑤	このチャンネルを閉じる
⑥	音声出力 ON
⑦	ローカル静止画保存
⑧	デジタルズーム：拡大
⑨	デジタルズーム：縮小
⑩	デジタルズーム終了
⑪	ストリーム切り替え

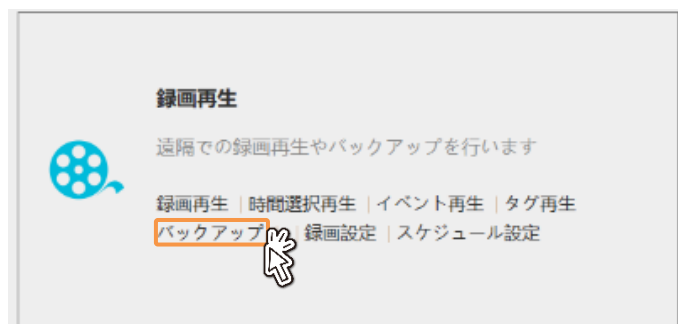
8、バックアップ

録画映像をバックアップ（PC にダウンロード）します。

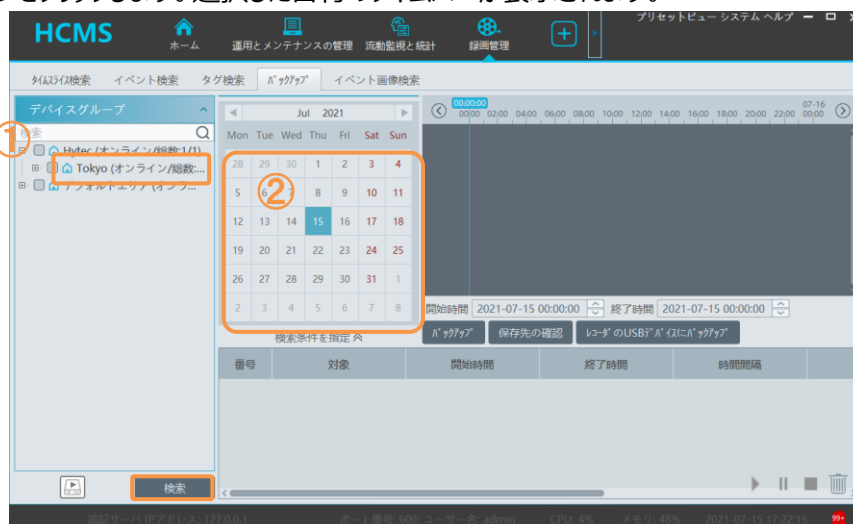
8-1、バックアップメニューからバックアップする

バックアップメニューを起動し日付時刻を指定してバックアップします。

- ホームメニューで、バックアップをクリックします。



- バックアップしたいチャンネル（カメラ）をクリック①した後、カレンダーで目的の日付をクリック②し、検索ボタンをクリックします。選択した日付のタイムバーが表示されます。

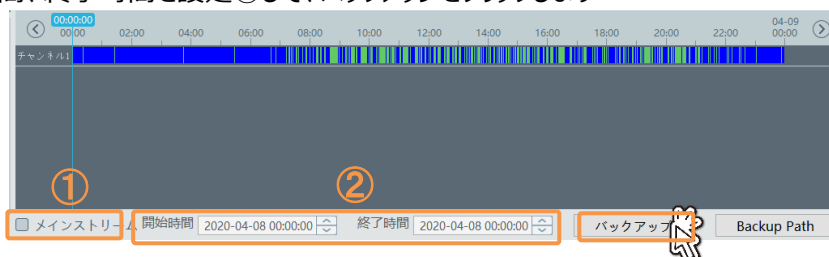


i お知らせ

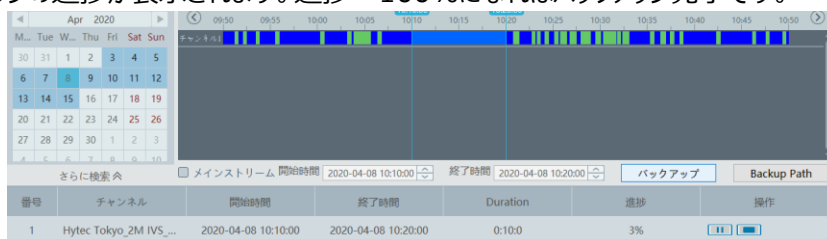
キーボードの Ctrl キーを押しながらクリックすると、複数のチャンネルを選択することができます。

- バックアップするストリームを選択します。メインストリーム（高解像度映像）をバックアップする時はメインストリームを有効☑①にします。有効にしていない場合は、サブストリーム（VGA 解像度）の映像をバックアップします。

開始時間、終了時間を設定②して、バックアップをクリックします



- バックアップの進捗が表示されます。進捗 = 100%になればバックアップ完了です。

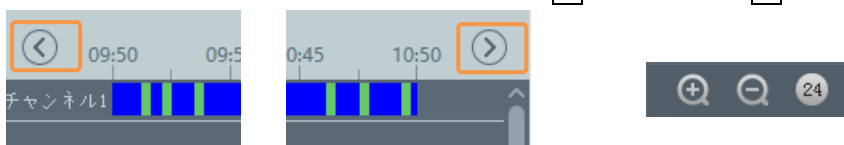


i お知らせ

操作ボタンで、バックアップの一時停止、キャンセルが可能です。

i お知らせ

再生と同様に、タイムバーの拡大⊕、縮小⊖、過去に遡る<、現在に進める>の操作が可能です。



i お知らせ

Backup Pathをクリックすると、バックアップデータが保存されるフォルダーのパスが確認できます。初期設定は C:/backup です。ブラウザをクリックして、保存するフォルダーを変更することも可能です。

録音とスナップショットの設定

次へ録画ファイルを保存 C:/record [ブラウザで開く]

次へバックアップ C:/backup [ブラウザで開く]

バックアップのフォーマット AVI [v]

次へスナップショットを C:/capture [ブラウザで開く]

スナップショット番号 5 [v]

手動録画とバックアップの最大ファイルサイズ ☒ 512MB ☐ 1GB ☐ 2GB

8-2、再生画面からバックアップ

録画映像の再生中に、バックアップすることができます。イベントバックアップ、時刻指定バックアップに対応しています。

- 録画映像の再生中に、画面中央右端にマウスポインターを移動すると、隠れメニューが現れます。一番下のバックアップアイコンをクリックします。



8-2-1、イベントで指定してバックアップ

- 選択している日付の、一日分のイベントリストが表示されますので、ダウンロードするイベントを選択（クリック）して水色表示にしてOKをクリックしてダウンロードします。



i お知らせ

キーボードの Ctrl キーを押しながらクリックすると、複数のイベントを選択することができます。

i お知らせ

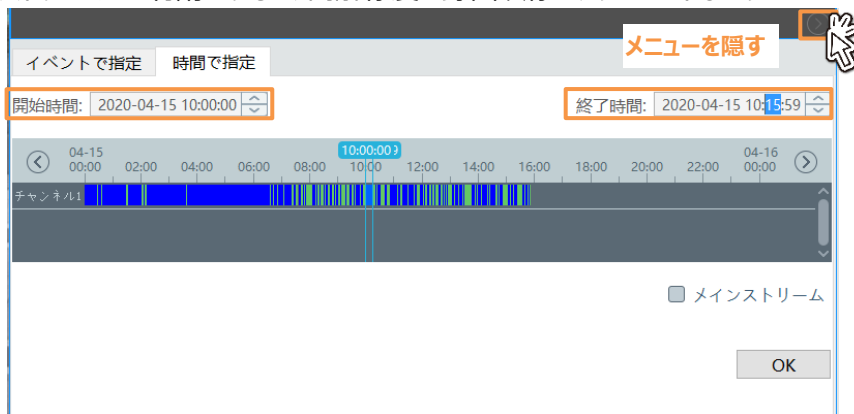
デフォルトのストリームはメインストリームです。☑を無効にすると、サブストリーム（VGA 解像度）の録画映像をダウンロードします。

i お知らせ

バックアップメニューを隠すにはリスト右上の●をクリックします。

8-2-2、時刻で指定してバックアップ

- 開始時刻と終了時刻を指定して、OK をクリックしてバックアップします。
メインストリーム☑を有効にすると、高解像度の録画映像をダウンロードします。



i お知らせ

メインストリーム☑を有効にすると、高解像度の録画映像をダウンロードします。

i お知らせ

バックアップメニューを隠すにはリスト右上のをクリックします。

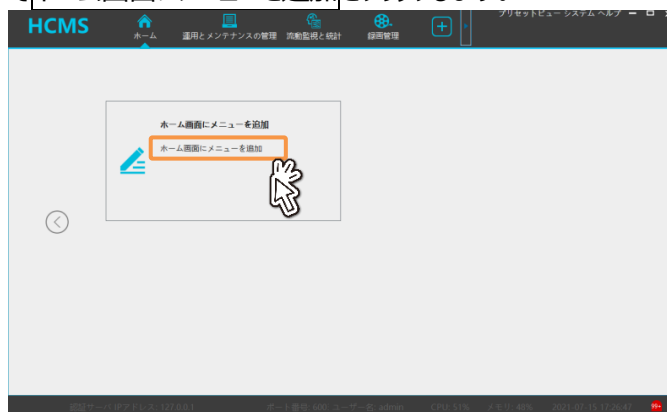
9、アラーム設定

モーション検知などカメラの検知によるアラーム通知の設定を行います。

9-1、アラーム設定機能を有効にする

アラーム設定メニューを有効にします。

- ホームメニューでホーム画面にメニューを追加をクリックします。



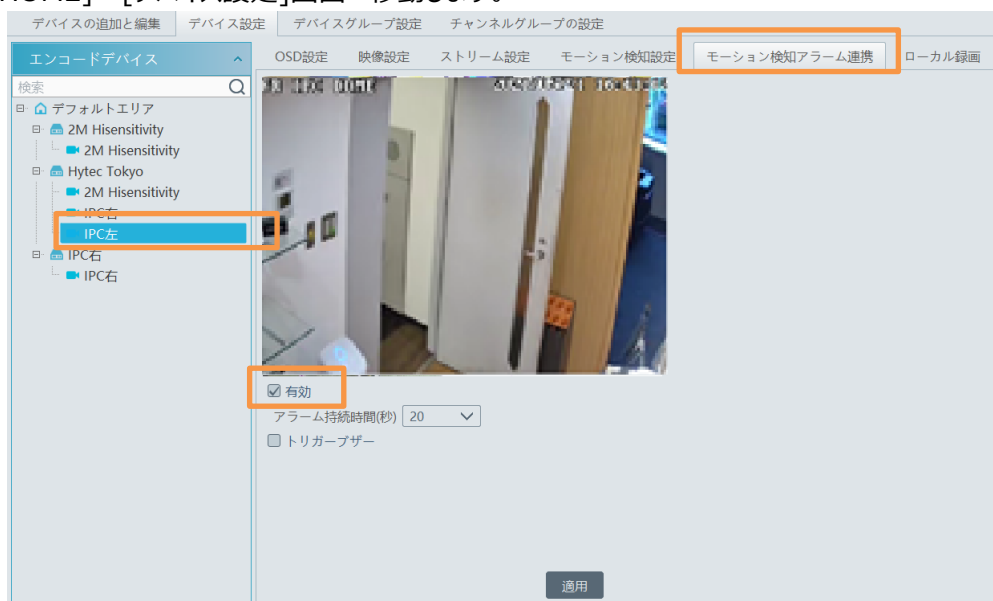
- アラーム設定の☑を有効にしてOKをクリックします。



9-2 デバイス設定

デバイスのモーション検知などのアラームを有効にします。

[HOME]→[デバイス設定]画面へ移動します。



アラームを有効にするには、設定する機器を選択し、モーション検知などのアラームを有効にします。詳細な設定については、対応する機器のユーザマニュアルを参照してください。

9-3 アラーム設定

アラーム発報時の連携動作を設定します。

[HOME]→[アラーム設定]→[アラーム連携設定]画面へ移動します。

アラームログの参照	アラーム連携設定	スケジュールの登録	手動アラーム出力	SOP(アラーム対応手順)項目の設定	アラームタスク設定	Eメール設定	
デバイスグループ	アラームの種類: チャンネル→モーション検知	全てON	全てOFF	リセット	適用	フィルター	
検索	デバイス名	音声	PTZコントロール	録画	アラームビュー	スナップショット	アラーム出力
2M Hisensivity	2M Hisensivity	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

デバイスグループ、アラームタイプの種類を選択し、アラームのトリガーを有効にします。

全て ON: 現在のアラーム種類でデバイスグループのすべてのアラームトリガーを有効にします（スケジュールを除く）。

全て OFF: 現在のアラーム種類でデバイスグループのすべてのアラームトリガーを無効にします（スケジュールを除く）。

機器名の横にある▼を選択し、「ON」を選択すると、その機器のすべてのアラーム連動が有効になります（スケジュールを除く）。

デバイス名	音声	PTZコントロール	録画	アラームビュー	スナップショット	アラーム出力
2M Hisensivity	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

項目名（例えば、録画）の横にある▼を選択すると、すべてのデバイスの録画連携が可能になります（スケジュールを除く）。[Link to itself (On)] を選択すると、すぐにカメラ自体を録画カメラとして選択します。





デバイス名	音声	PTZコントロール	録画	アラームビュー	スナップショット	アラーム出力
2M Hisensivity	OFF	OFF	Link to itself (On)	OFF	OFF	OFF

PTZ 制御、録画、アラームビュー、スナップショット、アラーム出力、音声一斉配信、ビデオウォールのアラーム連携設定は、それぞれ同じです。ここでは、録画連携設定を例に設定手順を紹介します。

[Device Name_Camera1] ビデオウォールトリガ設定

選択可能なチャンネル	選択したチャンネル	ビデオウォ...
<input type="checkbox"/> デフォルトエリア <input type="checkbox"/> Device Name_... <input type="checkbox"/> Device Name_... <input type="checkbox"/> Device Name_I...		

☐ ON
 検索
 全て選択
 選択反転
 全てクリア
 OK
 取消



選択可能なチャンネルにチェックを入れて  をクリックしてチャンネルを選択、選択したチャンネルにチェックを入れて  をクリックしてこのチャンネルを削除、 をクリックして全てのチャンネルを選択、 をクリックして選択したチャンネルを全て削除します。

チャンネルを選択したら、「ON」にチェックを入れて「OK」をクリックして設定を保存します。

アラームスケジュールを設定します。目的の機器のスケジュールを選択します。7*24 または 5*24 が初期設定です。その他のスケジュールは事前に設定する必要があります。[スケジュール設定]タブをクリックして設定します。(「9-8 スケジュール登録」を参照)。

9-4 アラームログ

アラームログの参照 アラーム連携設定 スケジュールの登録 手動アラーム出力 SOP(アラーム対応手順)項目の設定 アラームタスク設定 Eメール設定										
全てのログ		開始時間	2021-05-20 00:00:00	終了時間	2021-05-20 23:59:59	検索	リセット			
NO.	時刻	発報元	アラームの種類	詳細	録画再生	デバイスの再生	サーバキャプチャ	デバイスキャプチャ	アラーム処理	
1	2021-05-20 17:06:21	IPC右	チャンネル-動体...							
2	2021-05-20 17:06:21	Device Name_IPC右	チャンネル-動体...							
3	2021-05-20 17:04:47	IPC右	チャンネル-動体...							
4	2021-05-20 17:04:47	Device Name_IPC右	チャンネル-動体...							
5	2021-05-20 17:04:15	IPC	チャンネル-動体...							
6	2021-05-20 17:04:15	Device Name_IPC	チャンネル-動体...							
7	2021-05-20 17:03:41	IPC右	チャンネル-動体...							
8	2021-05-20 17:03:41	Device Name_IPC右	チャンネル-動体...							
9	2021-05-20 17:02:47	IPC右	チャンネル-動体...							
10	2021-05-20 17:02:47	Device Name_IPC右	チャンネル-動体...							
11	2021-05-20 17:01:13	IPC右	チャンネル-動体...							
12	2021-05-20 17:01:13	Device Name_IPC右	チャンネル-動体...							
13	2021-05-20 17:01:00	IPC	チャンネル-動体...							
14	2021-05-20 17:01:00	Device Name_IPC	チャンネル-動体...							
15	2021-05-20 17:00:12	IPC右	チャンネル-動体...							
16	2021-05-20 17:00:12	Device Name_IPC右	チャンネル-動体...							

 をクリックして録画を再生します。 をクリックして、次に示すようにスナップショット検索ウィンドウを開きます。

スナップショット検索

デバイスグループ

Device Name_IPC右

開始時間

2021-05-20 17:05:2

終了時間

2021-05-20 17:07:2

検索

検索結果



2021-01-27 11:45:21



2021-01-27 11:45:31



2021-01-27 11:45:38



2021-01-27 11:45:46



2021-01-27 11:45:52



2021-01-27 11:46:01



2021-01-27 11:46:08



2021-01-27 11:46:13



2021-01-27 11:46:16

全て選択

選択反転

ダウンロード

現在

1

/11ページ

ページ

毎

10

ページ

総数: 11

検索した画像を確認し、この画像をダウンロードするには、画面の下部にある[ダウンロード]をクリックします。

10、E-マップ表示

カメラの設置位置をマップに表示して監視します。

10-1、E-マップの機能を有効にする

E-マップ設定と E-マップ表示を有効にします。

- ホームメニューでホーム画面にメニューを追加をクリックします。



- E マップの図を有効にして OK をクリックします。



10-2、E-マップを設定する

E-マップを作成します。

- ホームメニューの E-マップ設定をクリックします。



- マップの追加をクリックすると、MAP 登録メニューが表示されます。

- ・マップ名→任意のマップ名を入力します
- ・マップ種別→マップを選択します。PC がインターネットに接続されてる場合は Google Map も利用できます。
- ・マップファイル→あらかじめ用意したマップファイル(jpeg 画像/解像度は 1920X1080 程度)を選択します。

OK をクリックして登録します。



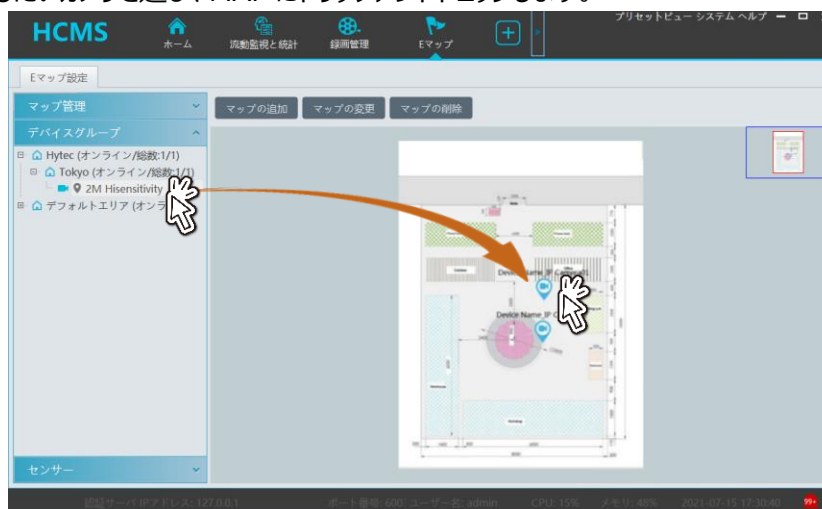
i お知らせ

親マップと子マップが設定できます。親マップの下に複数の子マップが配置できます。
アラームビューでは、親マップ、子マップに登録されたカメラのアラーム映像が自動で表示されます。

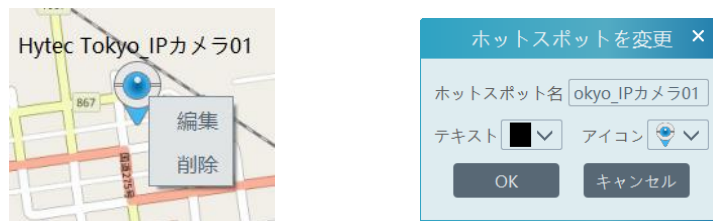
- MAP 登録されたら、カメラを配置します。設置エリアをクリックします。



- 配置したいカメラを選び、MAP にドラッグアンドドロップします。



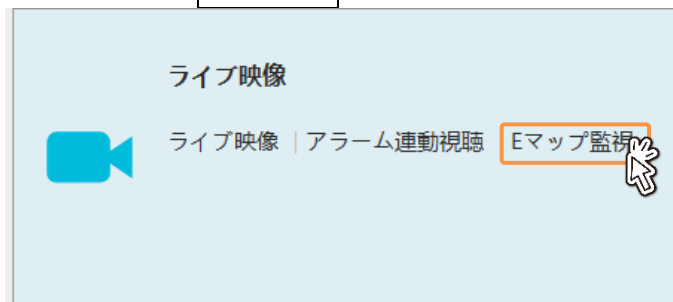
- 配置したカメラアイコンの上でマウスを右クリックすると、アイコンを編集することができます。
アイコンの名称（ホットスポット名）、アイコン名称のテキストの色、アイコンの種類が編集可能です。



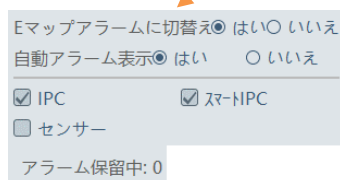
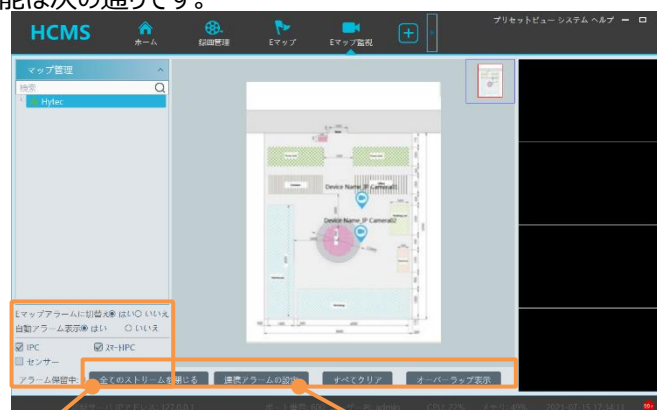
10-3、E-マップで監視する

作成した E マップを表示して監視します。

- ホームメニューの、ライブ映像→E マップ監視をクリックします。



- E マップ監視画面が表示されます。
各メニューの機能は次の通りです。



- ・E マップアラームに切替え：E マップ表示に切替え
- ・自動アラーム表示：自動アラーム表示の有効/無効
- ・IPC/Smart IPC/センサー：アラームセンサーの選択
- ・アラーム保留中:未処理のアラーム



- ・全てのストリームを閉じる：全画像を閉じる
- ・連携アラーム n 設定：アラームを設定する
- ・全てクリア：アラームを全てクリアする
- ・オーバーラップ表示：画像表示ウィンドウ切り替え

10-3-1、映像表示ウィンドウへの映像表示方法

自動アラームビュー表示を有効にした場合は、イベントが発生したカメラの映像を自動で表示します。
自動アラームビューを無効にすると、予め選択したカメラの映像を表示します。

- 自動アラームビューを無効にする

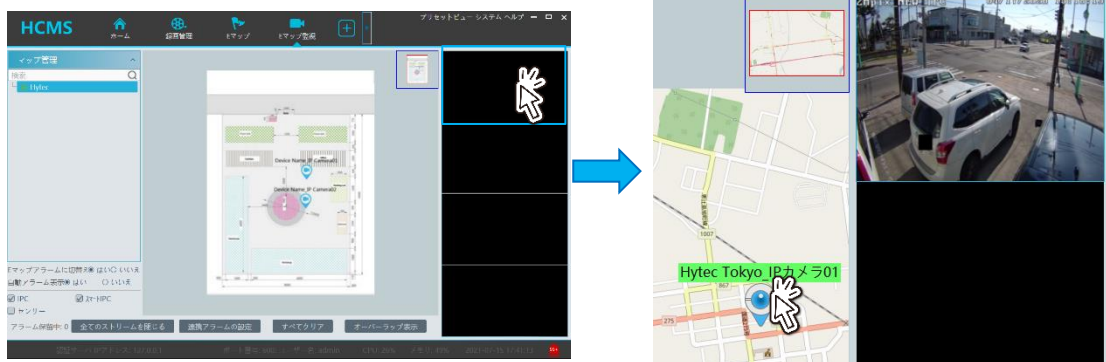
Auto Alarm View を「いいえ」にします。

表示方式は、タイル表示とオーバーラップ表示が選択できます。

- ①タイル表示

画面右側 4 つの縦に並んだ画像表示ウィンドウにライブ映像を表示します。

表示したいウィンドウをクリックして青枠表示にしたあと、表示したいカメラのアイコンをダブルクリックします。

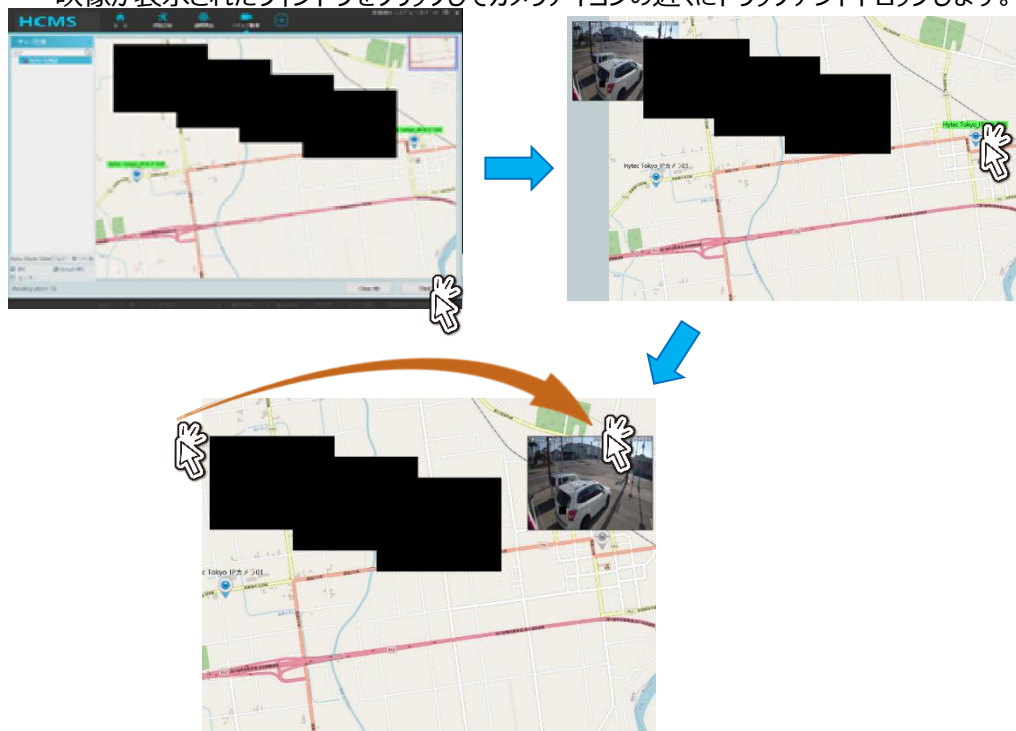


- ②オーバーラップ表示

Overlap アイコンをクリックします。

カメラのアイコンをダブルクリックしてライブ映像を表示します。

映像が表示されたウィンドウをクリックしてカメラアイコンの近くにドラッグアンドドロップします。

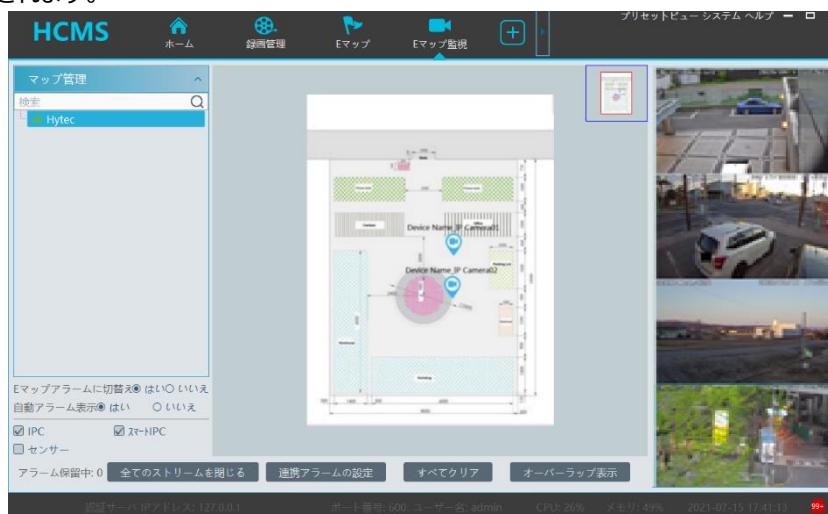


- 自動アラームビューを有効にする

NVR 側でモーション検知やスマート検知を設定しておきます。

タイル表示にします。

カメラにイベントが発生すると、MAP に配置したカメラアイコンが点滅し、画像表示ウィンドウにライブ映像が表示されます。



i お知らせ

最初にイベントが発生したカメラの映像が最上段のウィンドウに表示され、次にイベントが発生したカメラの映像は二番目のウィンドウに、三番目～四番目と上から順に表示されます。

全てのウィンドウに映像が表示されている場合は、次に発生したイベントの映像は自動的に表示されません。

イベントの確認が終わったウィンドウの映像をクローズすると、そのウィンドウに次のイベントが発生したカメラのライブ映像が表示されます。

全てのウィンドウにライブ映像が表示されている状態で、いくつものイベントが発生している場合は、ウィンドウを閉じるたびにイベントが発生したカメラのライブ映像を表示します。

全てのイベントが発生したカメラの映像が表示し終わると、黒ウィンドウに戻ります。

発生した全てのイベントをクリアするためには Clear ALL ボタンをクリックします。

11、マルチモニタ表示

パソコンに2台のディスプレイが接続されている場合に、両方のモニタに別々の監視画面を表示することができます。

- 分離したい機能のタブをドラッグして分離し、そのままモニタ2に移動したドロップします。



i お知らせ

マルチモニタの使用例

例 1 : ライブ映像 1 + ライブ映像 2



例 2 : ライブ映像 + E-MAP

